

小学校第5学年国語科学習指導案

日時 平成25年10月8日(火)

指導者 5年担任 教諭 城井 順一

1 単元名 本は友達 わたしたちの「図書館改造」提案

2 単元について

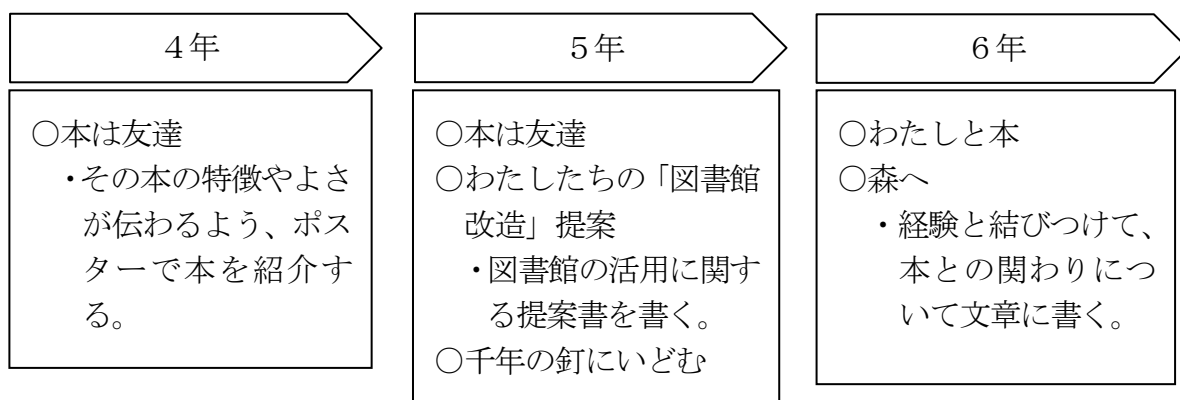
(1) ねらいについて

本単元は、小学校学習指導要領解説国語編の第5学年「書くこと」において、「(1) イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」をねらいとしている。単元の学習では、文章の構成について話し合い活動を位置づけることで、書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して話し合うことの大切さに気づかせるようにする。

「本は友達」は6年間にわたり様々な観点から構成されている内容の一つであり、5年生では図書館をよりよく改造するにはどうすればよいかを考える活動を行うことで、読書が生活に潤いを与え、生きていくのに役立つのだということを実感し、生涯にわたる読書人へと成長していくことをねらいとしている。

学校図書館の現状について、調査方法を選び、集めた情報を分析・整理して明らかになった問題点を解決するべく、改善方法を提案することが大切である。その考えに至った過程が説得力を持つような提案書の構成や表現を工夫することに着目させ活動を進めるようにする。現状分析から問題点の洗い出し、解決への提案といった学習の流れは、国語科に留まらず、他教科・他領域、ひいては今後の生活の中でも必要な課題解決力の育成につながると考える。

(2) 本単元の系統は以下のとおりである。



(3) 児童の実態について

※ 省略

(4) 指導にあたって

- 活動の流れを提示して学習過程を明確にし、児童が見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。
- 教科書の例文を提示したり友だちの考えを参考にさせたりするなどの支援を行うことで、多様な提案を引き出すことができるようにする。
- 全ての児童が自分の考えを持てるように付箋紙を用いて調査内容やアイデアを多く出させる。
- 自分たちの学校の図書貸し出しデータや聞き取り調査に基づいて図書館改造に関する提案を作成する。
- 課題解決のための提案になっているか文章の構成に着目しながら、話合いに臨むことができるようにする。
- 児童から出されたよい考えについては全体場で紹介して価値付けをし、自他の思いや考えが相互に受容されるようにする。
- 個が生かされる支持的風土づくりに配慮して児童相互の関わり合いを大切にす

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・ 展開場面でデジタル教科書の例文を提示して説明し、説得力のある提案書の書き方を理解させる。

②児童の活用

- ・ 作成した提案書を相互発表する場面で、実物投影機を活用してノート発表させ、お互いの工夫点や改善点を共有し、よりよい提案書づくりにつなげる。

3 単元の目標

- 目的に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理し、自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果、表現の効果などを考えて書くことができる。
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・ 目的や意図に応じ、考えたことなどを、文章全体の構成の効果を考えて書こうとしている。	・ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。	・ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

5 指導計画及び評価基準（7時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	書	言	評価基準・評価方法
1	○教科書を読んで活動の流れを確認し、学習課題である「提案書を書いて、図書担当の先生にアイデアを伝えよう」を設定する。	・現在の図書館の利用の様子や、様々な工夫を知らせ、自分たちの図書館をより魅力的なものにしたいという意欲付けを行う。 ・教科書を参考にしながら、活動の手順を確実に把握させる。			○	・例示されている提案書の構成を分析し、その構成を理解している。 <ノート／発言>
2	○自分たちの図書館について調べたいことを決め、現状をとらえる調査をする。	・話し合いながら、実態調査に必要な項目を決めさせるとともに、調査活動の計画を立てさせる。	○			・自分たちの図書館をよりよく改造しようという意欲を持ち活動している。 <観察／ノート>
3	○学校図書館の課題を見つけ、解決に繋がりそうな工夫を考えたり、話し合ったりする。	・調査を行ったり、話し合いを行ったりしながら、図書館などの工夫に目を向け、自分たちのアイデアに広がりを持たせるようにする。 ・課題を出し合い、共有し、その中から自分の解決したい課題を選択させる。		○		・実態調査に必要な項目を決めている。 <ノート> ・実態調査、他の事例をもとに、改造のアイデアを考えている。 <観察／ノート>
4 【本時】 ・5	○教科書の提案書の構成を参考にしながら、自分の提案書を作成する。	・教科書の「提案書の構成」を参考にして、提案書を作成させる。その際、提案書の構成を事前に十分確認するようにする。		○		・「提案書の構成」にもとづき、提案の理由やアイデアについて伝わるように提案書が書かれている。 <発表／ノート>

6	○作成した提案書をお互いに発表し合い、書き方や提案に対する自分の考えを伝え合う。	- 教科書の「提案書の構成」を参考にし、提案された企画について分析し、疑問点や意見、工夫している点を見つけるようにする。 - 提案を発表し合う中で、よりよい提案や、広がりのある提案になるように支援する。 - 友だちの意見を肯定的にとらえ、意見を発表していくように促す。		○		「提案書の構成」にもとづき、提案の理由やアイデアについて伝わるように提案書が書かれている。 <発表／ノート>
7	○再度提案を練り直し、図書担当の先生に自分たちの企画を提案する。	図書担当の先生に時間を作ってもらい、児童が意欲的に活動できる場を工夫する。		○		「提案書の構成」にもとづき、提案の理由やアイデアについて伝わるように提案書が書かれている。 <発言／発表>

6 本時の展開

(1) 目標 教科書の例文を参考にして、提案書を作成することができる。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入 5分	1 本時のめあてを確認する。 (T)今日は、図書館をよりよくするための提案に向けて、提案書を作りましょう。	- デジタル教科書で活動の流れを提示し、学習の見通しをもたせる。 - 構成表をもとに、本時は提案書の「(1) 問題点」について書くことを確認する。	電子黒板 デジタル教科書 構成表
	めあて 分かりやすく、説得力のある提案書を書こう。 (C) どうやったら分かりやすい提案書になるかな。	児童の構成表作成時に出た視点をもとに、提案書の構成につなげていく。	

展開 37分	2 教科書の例文を読み取り、構成と表現のよさを見つけてワークシートに書き込む。 3 例文の構成の表現のよさを確認する。 (T) どの部分が「問題」として紹介されていますか？ (C) 低学年の人たちの利用が少ないことが分かりました。 4 教科書の例文の構成を参考に、提案書を書く。 (T) 構成表をもとに「提案書」を書きましょう。 (C) 構成表を見直してみよう。 【言語活動】（設定の意図） 例文の構成を参考にさせて、問題点・提案理由・提案の方向性を明確にして提案書を作成させる。 5 作成した提案書を、発表する。 (T) 自分が考えた図書館改造に向けた提案書を発表しましょう。 (C) 分かりやすく説明しよう。 (C) 友達の文章の構成は、きちんと例文のようになっているかな。	- 教科書の例文を分析し、問題点や提案理由・提案の方向性の視点で色分けしながらアンダーラインを引かせる。 - 電子黒板を使い、電子ペンで書き込ませ、例文の構成のよさを共有させる。 徹底指導（ポイント） - 教科書の例文と同じワークシートを配付して、線を引かせながら問題点・提案理由・提案の方向性を把握させる。 - 提案書の構成に留意して書くことができるように個別の声かけを行う。 能動型学習（ポイント） - 自分の構成表をもとに、構成に気をつけながら書かせる。 ◆書くこと（ノート） B基準教科書の「提案書の構成」を参考にして、提案書を作成することができる。 A基準教科書の「提案書の構成」を参考にして、説得力のある提案書を作成することができる。 ＜B基準に達していない児童への手立て＞ - その児童が作成した構成表を見て、どの部分が問題や原因になるのか考えさせる。 - 発表後、意見交換を取り入れる。	電子黒板 デジタル教科書 ワークシート 黒板提示用シート 構成表 実物投影機
終末 3分	6 本時を振り返る。	修正した最終的な考えを図書担当の先生に実際に提案することを伝え、活動への意欲を高める。	